

矢板市 生活支援体制整備事業 第2層協議体入門講座を開催しました

第11号
R1年8月

矢板市社会福祉協議会は、矢板市から生活支援体制整備事業の委託を受け、高齢者の方がいつまでも住み慣れた地域で元気に過ごすことができるよう、助け合い・支え合いのある地域づくりに取り組んでいます。
※この取り組みは、全国的に行われているものです。

第2層協議体入門講座を7月20日（土）に開催し、17名の方に参加をいただきました。

1 あいさつ



高齢対策課 沼野課長



社会福祉協議会 高沢事務局長

2 生活支援体制整備事業～矢板市の現状と取組みについて



高齢対策課 高橋課長補佐

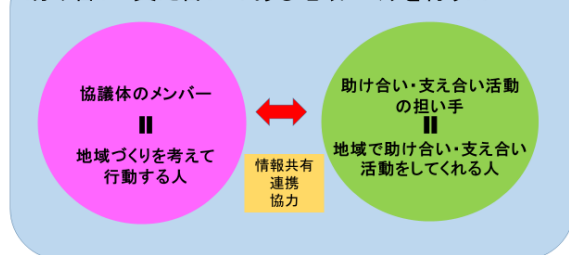
- ◆ 矢板市の高齢者の状況
- ◆ 今後の課題
- ◆ 地域包括ケアシステム
- ◆ 矢板市の取組みについて
- ◆ 今後について

3 助け合い・支え合いのある地域づくり～第2層協議体の設置に向けた取組み

社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 川畑

- ◆ 生活支援コーディネーターの活動内容
- ◆ なぜ助け合い・支え合いが必要なのか？
- ◆ 第2層協議体とは何か？
- ◆ 第2層協議体設置に向けたこれまでの取組み など

助け合い・支え合いのある地域づくりを行うメンバー



4 ワークショップ「助け合い体験ゲーム」



ご近所での助け合いをカードゲームで体験いただきました。

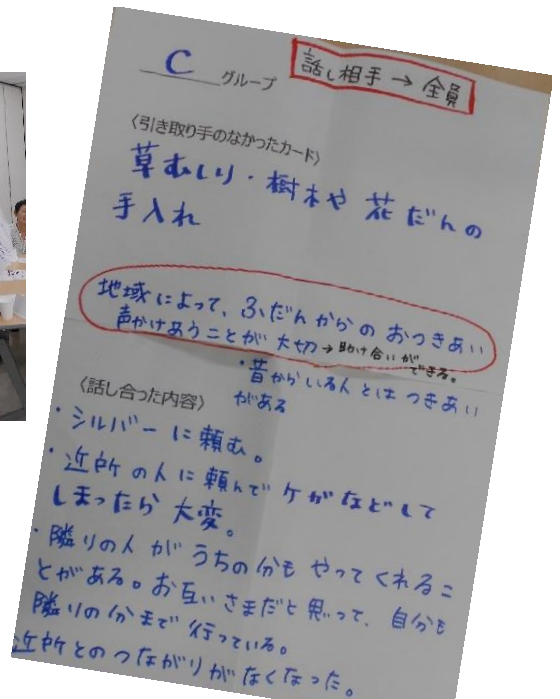
自分が助けてほしいカードを選び、それを手伝ってくれる人を探していきます。「助けて」と声をあげることの難しさ、助け合うことについてゲームを通して考えていただきました。

それぞれのグループから笑い声も聞こえて、とても和やかな良い雰囲気でした。

助け合いが成立（助けてほしい人が助けてくれる人を見つけた時）したら、握手を交わしてもらい、グループ内で拍手をしました。〈左写真〉

ゲームで『引き取り手のなかったカード=地域の課題』の解決方法などについて、グループで話し合いました。

各グループで話し合った内容を発表



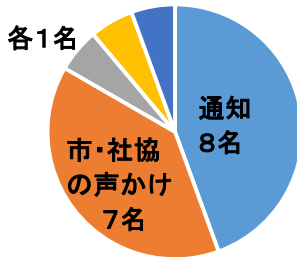
助け合いを行うには、普段からのおつきあい、声をかけ合うことが大切との話が出ました。急な雨の時に洗濯物を取り込んであげたりも普段からのおつきあいがあればできているとの話もありました。

アンケート結果

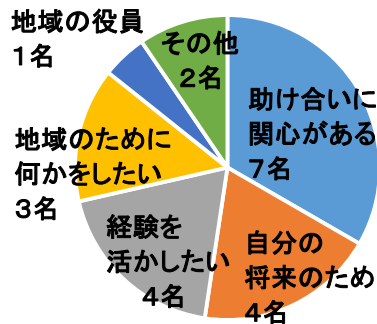
アンケート回答者15名

入門講座を何で知ったか

人から聞いた
広報・社協だより
その他



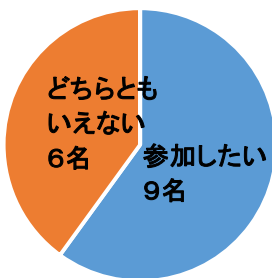
参加の理由



【参加してどうだったか】

- ・ 近所づきあいの大切さ、声かけの大切さを実感できた。
- ・ 地域での助け合いがより必要になってくると思うので、参加して良かった。
- ・ 地域の助け合い体制をつくるのに参考になりました。
- ・ 自分自身が助けてほしい年齢に近くなったため、どう助け助けられるか真剣に感じるようになった。
- ・ ゲームが良かった。

準備会への参加



【理由】

- ・ 毎回は無理なので、できたら参加したい。
- ・ 自分の将来につながる課題を少しでも解決できるお手伝いができたらと思います。
- ・ 地域のことを理解したい。

【その他 ご意見・ご要望・感想など】

- ・ 今日参加できなかった人への案内が大切と思う。
- ・ 地域の互助機能が発揮できる具体的な話し合いを望む。



助け合い・支え合いのある地域づくりの取り組みは、今までにない新しいスタイル・手法です。私たちも初めてのことで、毎日試行錯誤の連続です。皆さんの地域を安心して暮らしていける地域にしていくために、皆さんの力が必要です！ぜひ私たちに皆さんの力を貸してください。

矢板市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 川畑・只木・吉田
電話 44-3000 FAX 43-6661

